

「小瀬っ子放課後子ども教室」が文部科学省から表彰

「小瀬っ子放課後子ども教室」（小瀬小学校 小堀修弥校長）が、11月24日、東京の文部科学省講堂で開催された放課後子ども教室全国研究大会において、文部科学省生涯学習政策局長から表彰を受けました。

地域の人々の協力と教室を支えるスタッフの努力により、多種多様な活動を行っていることが評価されての受賞となりました。

常陸大宮市の放課後子ども教室は、平成19年度から国や茨城県からの支援を受けて市内の11小学校でスタートしました。子どもたちが、安全・安心な場所で勉強やスポーツ、そして、地域の人々との交流や体験を通してさまざまなことを学ぶ機会を作るために行っているものです。



▲フラワーアレンジメント

「小瀬っ子放課後子ども教室」には、現在58人の児童が在籍しています。指導員は7人。地域のボランティア、地元小瀬高等学校の生徒等多くの人々との交流があり、市外からも昔遊びの指導者等を招き運営されています。

「体験、触れ合い、学び合い」を活動テーマとして、英語で遊ぼう、竹細工、ジャンボシャボン玉作り、フラワーアレンジメント、高校生との自由遊び、子どもダンス教室等、季節に合わせた催し物を行い、月ごとに計画を立て実施しています。昨年12月には、クリスマスカード作り、カルタで遊ぼう、連風づくり、ミニ門松作り等が実施されました。

子どもたちは、放課後子ども教室の活動を楽しみにしていて、「体験、触れ合い、学び合い」を通して確かな成長の歩みを見せています。



平成21年度 常陸大宮市子ども会活動報告

平成21年度子ども会幹部研修会

～11月21日県立西山研修所～

来年度、子ども会のリーダーとなる小学5年生59人が研修を受けました。午前中は、西山研修所の方の指導で、6つのグループに分かれて飯ごう炊さんとカレーづくりを行い、午後は、県レクリエーション協会から2人の先生を招いて、仲間づくりゲームをしました。

「知っている人ばかりでなく、知らない人とも協力することの大切さを学びました。」「来年は子ども会のリーダーなので、みんなを引っ張っていけるようにがんばりたい。」などの感想がありました。



これから、子ども会のリーダーとして大いに活躍してください！

常陸大宮市子ども会球技大会

(ティーボール大会)

～8月8日大宮中学校グラウンド～

子どもたちは、大会に向けて、早朝や休日に練習に励んできました。市の大会には、各小学校支部の大会を勝ち抜いてきた17チームが出場しました。前日までの大雨によりグラウンド状況は万全ではありませんでしたが、練習の成果を発揮し合いました。



優勝 小倉青空子ども会（世喜小学校支部）（▲写真）
準優勝 小松油河内・大岩・みどり・仲よし・
千田入本郷子ども会（八里小学校支部）
第3位 上町仲よし・白陽子ども会（大宮小学校支部）

※ティーボール……バッティングティーと呼ばれる細長い台にボールを置き、止まっているボールをバットで打つスポーツです。